

伝統ある機械科の近代化を推進され多大な貢献と評価されました。また、機械科長時に最先端の工作機械を導入する為に新校長に力説して一流メーカー大隈製のマシニングセンターが入り、最新の実習ができると喜んでいました。その後、教務課長に選出され、教頭に就任されてから大阪市教育委員会に転任され高校課長として活躍されました。

当時の大阪市の教育現場では、入学・卒業式での日の丸・君が代の強要、同和問題、教職員の強制移動、学校統廃合と学級減などの諸問題が起きていたが都島工業高校第18代学校長に就任されすぐにこの学級減が持ち上がり一学年12学級を10学級に2学級減が市教委から提起され、それを巡って6科が紛糾し、筆者も機械科長の立場で歴史と伝統を壊すと反対しましたが、類似の機械・機械電気科、建築・都市工学科の2科ずつの総合募集で2学級減、半期の共通履修にして専門性を高める府立にはない独自性のある案に落ち着きました。蔵敷先生にとっては大任を果たされ、筆者も一番の思い出になっています。

一方若かりし頃のエピソードとして、お見合い相手の姉さんではなく、お茶を出して来られた妹さんを見初めて結婚されたとのことや、初めて中古自動車を運転した時、左通行の反対側を間違って走っていたとか。ある時自分の車の前に割り込んできた車に、ヘッドライトを上下させて威嚇したらヘッドライトが切れて、雪道の帰りが大変だったとのことで、気性の激しいところもあったようです。

退職後は、以前から講師をされておられた大阪工業専門学校や情報技術専門学校にお亡くなりになる数年前まで勤められて、最新の情報や科学の話をして頂きました。また、竜の子会の総会懇親会に下呂雅亭へ増尾先生との御縁で参加させて頂いていた行き帰りに、蔵敷先生の自動車に同乗させて頂き、私が一度見学したかった琵琶湖岸にある野洲銅鐸博物館に寄って頂いたのが最初で、翌年は行く途中にある石積の岩屋ダムと天文学的な奇岩の岩陰遺跡に寄って頂きました。その後毎年あちこち見学させて頂きましたが、林田先生も同行された板取株杉の森、道無なき道を悪戦苦闘した養老の滝、関鍛冶伝承館・刃物会館、関ヶ原の鍾乳洞、恵那溪奇岩遊覧、卒業生が入学した中日本航空専門学校等々が特に印象に残っています。先生のご配慮の賜物と感謝しています。